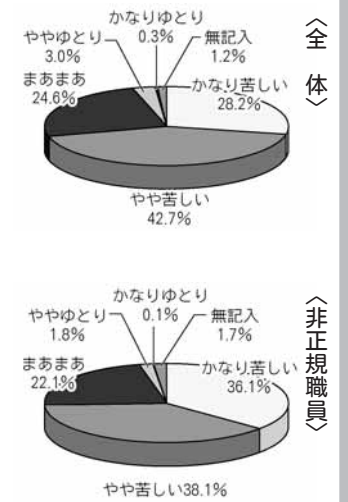


見えた! 浮かんだ! 組合員の暮らしと生活実態

大阪自治労連は、2007年春闘に向けた要求アンケートを「あらゆる要求実現運動の土台」として位置づけて、組合員の暮らしと労働実態を明らかにし、要求討議での資料づくりとしてとりこんできました。この間、寄せられた8424人分のアンケートを集約し、中間集計としてまとめました。

◆生活実感

生活実感では「かなり苦しい」「やや苦しい」を合わせて70・9%。非正規職員では74・2%といずれも高く、苦しい家計が続いています。中でも非正規職員では「かなり苦しい」が正規職員を大きく上回り格差の実態があらわれています。



◆賃上げ要求

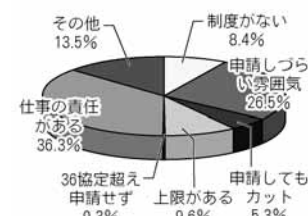
職員のところでは、月額、日額、時給のいずれも増加しています。引き上げ要求額では1万円から4万円のゾーンが大半ですが、6万円以上の部分も増加しています。

2007年春闘での賃上げ要求は平均で、3万2626円。正規職員で3万291円、非正規職員で3万3161円でした。今年の平均要求額は昨年の3万2827円を下回っていますが、非正規

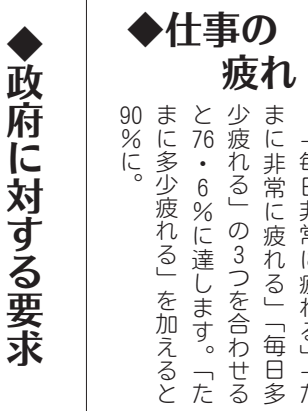
	5千円未満	5千円以上	1万円以上	2万円以上	3万円以上	4万円以上	5万円以上	6万円以上	8万円以上	10万円以上	無記入
全体	2.1	4.1	19.1	12.6	22.6	1.9	17.9	2.9	1.1	5.2	10.6
正規	2.2	4.1	20.6	13.5	24.3	1.8	19.0	2.7	1.0	5.6	5.1
非正規	1.5	4.3	14.3	9.5	16.7	2.1	13.7	3.5	1.3	3.8	29.4

(単位%)

◆サービス残業



◆仕事の疲れ



◆政府に対する要求

政府に対する要求では、「年金制度の改善」「医療・福祉の充実」が上位になっています。また、格差社会や貧困化の進行のなかで、「生活保障と雇用創出」「最低賃金引き上げ」が増加しています。

項目	件数	割合
年金改善、最低保障年金制度確立	3190	14.7%
医療・福祉などの改善	3177	14.6%
生活保障と雇用創出	2604	12.0%
大増税阻止	2439	11.2%
最低賃金の引き上げ	1793	8.2%
労働法制改悪阻止	1390	6.4%
教育制度の充実	1256	5.8%
環境対策	1167	5.4%
公務の市場化反対	1019	4.7%
憲法改悪反対	919	4.2%
公共事業の見直し	646	3.0%
食の安全、自給率向上	461	2.1%
差別の根絶・均等待遇	356	1.6%
無記入	1369	
回答総数	21771	

2月9日に開催された第54回中央委員会にさきだてて開催された「春闘学習会」では、「憲法の伝道師」として、全国各地に講演活動で活躍されている伊藤真さん(「伊藤塾」塾長)が講演しました。「世界の宝、憲法九条」をテーマに、伊藤真さんの講演要旨を紹介します。

「憲法の伝道師」伊藤真さんが講演

法律とは、国民間の利益と利益が衝突したときに調整する役割をはたすもの。法律が正しいのは、国会という、国民の多数派の意見に従って利益の調整をしているから。しかし、国民の多数派に従ったとしても、多数派が必ずしも絶対的で、正しいとは限らないのです。国会で成立する法案もそう。そこで、権力の横暴に歯止めをかける必要がでてきます。民主主義にも歯止めがあるのです。そのときどきの多数決で奪っては

ならない価値を明文化したものが「憲法」。憲法は国家権力を制限し、人権を保障するもの。「立憲主義」とはまさにそういう意味です。

憲法改正の必然性
はなにもない

法律は国民の自由を制限して、社会の秩序を維持するためのもの。言ってみれば国民に対する歯止め。憲法は国家権力を制限して国民の人権を保障するもので、国家に対する歯止めといえます。いくら、「多数

である9条、戦争放棄・平和主義。これは日本の英知の結晶。

いま、改憲論議が盛んですが、改憲の理由はとるにたらないものばかり。「GHQに押し付けられた憲法」というのが、GHQが参考にしたのは憲法学者の鈴木安蔵、尾崎行雄などの「憲法研究会」のものでした。「古くなくなった」いうが、アメリカ、イギリス、フランスの憲法も数百年の歴史のなかで基本的な部分を変えていません。フランス憲法など

自民党の「新憲法草案」は国防と愛国心

自民党が2005年に「新憲法草案」を出しました。現憲法は憲法を遵守する義務を国会議員などに課しているため、憲法改正案ではなく、「新憲法」草案としていられるのです。前文で「国や社会を愛情と責任感と気概をもって、自ら支え守る責務を共有し」と、国民に国防と愛国心の義務を強いています。第2章では「戦争の放棄」を捨てて「安

憲法は国家権力に歯止めをかけるもの 国民の人権を保障するもの



わかりやすい言葉で憲法を語る伊藤真さん

決だ、「民主主義だ」といっても、決めてはいけないもの、やってはいけないものがあります。これを規制するのが憲法。国民は法律を守る義務がありますが、憲法を守る義務はまったくありません。守らなければならぬのは天皇、大臣、国会議員、公務員だと憲法には書いています。

日本国憲法の特徴は、①世界の近代憲法の流れである人権を引き継いでいること。これは人類の英知の結晶、②日本の先進性の現れ

は1789年のフランス革命での人権宣言の内容が今も守られている。古いといえど200年以上。「プライバシー権、環境権」というが、現憲法での解釈で十分対応できるもの。「攻められたときに国民を守る軍隊は必要だ」というが、いま日本を攻める国はありません。また軍隊とは国民の命や財産を守るためではなく国の体制を守るためのもの。国民の命や財産を守るのは警察や消防の仕事です。

全保障」にしました。9条の1項は残していますが、1項は「国際紛争を解決する手段としては永久にこれ(武力の行使)を放棄する」で、国際紛争とは侵略戦争はしかけないという解釈で、2項では具体的に自衛軍、交戦権をいれているのです。現憲法は弱者保護のために強者の横暴を制限する「公共の福祉に反しない限り」という言葉が、いくつかの条文にありました。それを取り払ったのも大きな問題です。

今月のキーワード

黄 砂

毎年2月から5月にかけて、日本では黄砂が多くなります。黄砂は、日本から西へ2000キロ離れた黄土高原、ゴビ砂漠、タクラマカン砂漠などの地面から舞い上がった鉱物の粒子です。春は地表が雪や植物におおわれ乾燥します。大陸では低気圧が発生しやすく、強風がおきて土や砂を舞い上げ、それが偏西風に乗って数日かけて日本に移動してくるのです。2006年に観測されたのは42日で近年は増加傾向です。

今月のキーワード

建国記念日

2月22日は建国記念日で国民の祝日です。1967年から施行されて今年で41回目。建国記念日は、この日が第一代天皇である神武天皇が即位したとされているからです。「日本書紀」によれば、神武天皇が即位したのは紀元前660年のこと。この時代は史実では縄文時代であって、国家も階級も存在しないことから、「神武天皇」も「2月11日」も架空のもの。明治政府がこの日を「紀元節」として祝日としたのを復活させたものです。